

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門基礎	外科学	講義	3	60	解剖学・生理学
学科・学年	担当教員名	科目関連実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
柔道整復学科 1年	井上 紀美	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
柔道整復師に必要な外科学の知識を平易に解説する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>外科学とは</p> <p>1. 損傷 2. 創傷 3. 熱傷 4. 炎症と外科感染症 5. 腫瘍 6. ショック 7. 輸血、輸液 8. 消毒と滅菌 9. 手術 10. 麻酔 11. 移植と免疫 12. 出血と止血 13. 心肺蘇生法 14. 脳神経外科疾患 15. 甲状腺・頸部疾患 16. 胸壁・呼吸器疾患 17. 心臓・脈管疾患 18. 乳腺疾患 19. 腹部外科疾患を行うため、予め教科書を読んでおくこと。</p> <p>※順不同</p>					
教科書・参考書					
公益社団法人 全国柔道整復学校協会 教科書「外科学概論」					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。</li> <li>● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。</li> <li>● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。</li> <li>● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。</li> <li>● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。</li> </ul> <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡し下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教科書を中心に授業を展開しますので、教科書を忘れずに持って来て下さい。</li> </ul>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		外科学とは		/	井上
2		損傷①		/	井上
3		損傷②		/	井上
4		炎症		/	井上
5		外科学感染症①		/	井上
6		外科学感染症② 腫瘍1①		/	井上
7		腫瘍②		/	井上
8		腫瘍③		/	井上
9		腫瘍④ ショック①		/	井上
10		ショック②		/	井上

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		ショック③ 輸血・輸液①		/	井上
12		輸血・輸液②		/	井上
13		輸血・輸液③		/	井上
14		輸血・輸液④ 消毒と滅菌①		/	井上
9/24～9/27前期試験					
15		消毒と滅菌② 手術		/	井上
16		滅菌スライド写真 手術結び・縫合 麻酔①		/	井上
17		麻酔② 移植と免疫①		/	井上
18		出血と止血1 (免疫)		/	井上
19		肝委縮 免疫①		/	井上
20		免疫②		/	井上

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		免疫③ 心肺蘇生法		/	井上
22		脳神経外科疾患① 脳・神経疾患の主要徴候		/	井上
23		脳神経外科疾患② 中枢性疾患の主要徴候		/	井上
24		脳神経外科疾患③ 画像検査		/	井上
25		脳神経外科疾患④ 主な脳・神経疾患 甲状腺疾患		/	井上
26		胸壁・呼吸器疾患		/	井上
27		腹部外科疾患①		/	井上
2/12～2/14後期試験					
28		腹部外科疾患②		/	井上
29		胸壁・呼吸器疾患① 肺疾患		/	井上
30		胸壁・呼吸器疾患② 胸膜疾患・胸部損傷 心タンポナーデ		/	井上